



はしもとかずみ 議員  
**橋本一実**

熱海市民クラブ  
◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会  
(副委員長)  
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■伊豆山郷土資料館と市道伊豆山神社参道線整備

6月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



宿泊税と※オーバーツーリズム対策について  
子どもの給食における事故防止対策について

**質問** 観光客だけでなく市民からも渋滞で困っているという声が多い。宿泊税を※オーバーツーリズム対策に充当することは可能か。

**答弁** 令和6年3月に制定した熱海市宿泊税条例では、「観光資源の魅力向上及び情報発信、旅行者の受入環境の充実、その他の地域社会の発展に寄与する持続的な観光振興に要する経費に充てる」と明記しており、※

オーバーツーリズム対策に取り組むことは、条例の目的にも合致するものと考えている。今後は熱海観光局と連携し、受入環境の改善、市民と観光の共存の実現に向け、宿泊税の用途を明確に定めていく。

**質問** 子どもの給食における事故防止対策について伺う。

**答弁** 保育園・認定こども園では、誤嚥・窒息事故防止に向けて、市の事故防止・安全指導マニュアルに基づき、食事環境の整備、年齢

に応じた食品の形状への配慮、適切な食事介助の3点を重点に、日々指導と点検を行っている。またアレルギー対応についても個々の児童に応じた除去食の提供、緊急対応体制の整備等を行い、小中学校では本市の特色である自校式調理を採用し、文部科学省の基準や厚生労働省のマニュアル等、関係法令・基準を遵守している。

「敬老パス」支給制度創設について  
下水道施設運営民営化について

**質問** 熱海の高齢者等が公共交通機関(バス・タクシー・電車など)を利用する時に支払う料金を少なくすることで外出が増えれば、高齢者の社会参加が増え、バス、タクシーなども助かる。近隣他市町も実施しており、函南町では福祉タクシー・バス、伊豆箱根鉄道駿豆線で利用できる券を年間1万5千円分支給している。伊東市、三島市、伊豆市、それぞれ実施している。こうして高齢者の暮らしの幅を広げ、暮らしの質に潤いを重ねる助けになっている。取り組んでいない本市は高齢者にやさしい街ではないと思われてしまわないのか。

**答弁** 本市も以前は公共交通機関料金助成を行って

いたが市の財政の悪化や助成による受益の不公平感などから終了した経緯がある。これでは地方自治体の役目である福祉の増進には逆行するが。

**答弁** 実践できるような福祉サービスの充実を図る考えには変わりはない。

**質問** 埼玉県八潮市の例が示すように古くなった下水道管の取り替えは急がれる。国からの補助金が欲しいからデメリットが沢山あるのに民営化の手續の準備をしているのか。浜松市は水道事業で一旦考えて取り組んだが止めた。本市はそれでもやるのか。

**答弁** 様々な課題を解決するため、デメリットを最小限に検討を進めていく。



たかいかずゆき 議員  
**高井一幸**

日本共産党  
◆ 所属委員会 ◆  
総務福祉教育委員会  
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■マイナンバーカードの健康保険証

6月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから

